

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	東京オリンピック・パラリンピック教育推進事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課			
施策	3-6	国際社会への対応		主管課長	西村 淳			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市立小山小学校児童 流山市立常盤松中学校生徒	意図	児童生徒が国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解などを身に付ける機会とする。
事業内容	スポーツ庁による委託事業で、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、国際的な視野をもって世界の平和に向けて貢献できる人材を育成するため、全国各地においてオリンピック・パラリンピック教育を推進していく事業である。			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県教育委員会からオリンピック・パラリンピック教育推進校として2校が指定され、オリンピック・パラリンピック教育を実施していくこととなった。開催地の一つでもある千葉県では、大会を盛り上げ、その効果や成果を最大限に県民に還元できるよう取り組んでいる。この動きを踏まえながら、競技力向上をはじめとして、国際交流、魅力発信に取り組んでいる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	講師による特別授業		7	7	時間	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	オリンピック・パラリンピック教育を通して、国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解などを身に付けることにつながる。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 小山小学校と常盤松中学校は、「おもてなしプロジェクト」「スポーツプロジェクト」を中心にオリンピック・パラリンピックを活用した教育に取り組んだ。 体験的な学習を通して国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解などを身に付けることにつながった。また、多様な国や地域の文化の理解を通じて、多様性の尊重や国際平和に寄与する態度や多様な人々が共に生きる社会の実現に不可欠な他者への共感、思いやりを培う機会となっている。
--------------------	---	---

  

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		338,300	178,090
事業費(b)(円)		338,300	178,090
うち一般財源		338,300	178,090
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)			
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	指定校の事業実施が円滑により充実した内容にできるよう、支援していく。	③取組における課題(Check)	事業実践の成果を、市内の小中学校で共有する機会が少なかった。
②H30に実施した取組(Do)	取組指針に沿って指定校が事業実践できるように、活動状況の確認や教育活動に活用できる情報提供を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	事業実践の成果を他校にも周知して、市内の小中学校にオリンピック・パラリンピック教育の充実を推進していく。